

## 就業体験（インターンシップ）・職場体験の取組

県立伊良部高等学校

### 1 本校のキャリア教育の特色

本校では、積極的に地域社会に貢献できる力の育成や、学習意欲や知的好奇心の向上、課題発見・課題解決能力の育成を目標に探究的学習を中心としたキャリア教育を行っている。

主な取り組みとしては、1学年では地域について学ぶ「地域学習」、2学年では各自の興味・関心に基づいた探究的学習、3学年では各自の進路について探究する進路探究を行っている。また、探究的学習の一環として地域行事へ主体的に関わる活動も行い、生徒が主役となれる場を多く設けるようにしている。

### 2 今年度の就業体験の具体的な取り組み

#### (1) 就業体験実施内容

①期 日：平成29年11月15日（水）～17日（金）の3日間

②対 象：2学年（普通科24名）

③実習先：生徒の社会性や自立心を育むために、ケイオーパートナーズの作成した事業所一覧を用い、1人につき1事業所で職場体験が実施できるよう配置し、宮古島内の保育園、幼稚園、病院、ホテル、新聞社等の24事業所で実施した。

#### (2) 実施計画

日 時	時間	内 容
8月29日	1	事前アンケート
9月1日	2	インターンシップオリエンテーション、先輩から学ぶ進路講話
9月6日	1	日誌作成
9月15日	1	修了大学生によるインターンシップ事前研修
9月20日	1	マッチングについて説明
9月27日	1	中高合同マナー講座
9月28日	1	マッチング
10月4日	1	事業所担当職員との顔合わせ
10月11日	1	事業所への事前アポ取り
10月25日	1	事前準備（日誌記入等）
11月14日	1	インターンシップ出発式
11月15日 ～ 11月17日		インターンシップ実施
11月22日	1	お礼状作成
11月29日	2	インターンシップレポート作成

#### (3) 事前学習、事後学習の具体的な取り組み内容

##### ①事前学習

今年度はケイオーパートナーズによって作成された事業所一覧を用い、生徒自身に実習先を選択させた。その際、1人1事業所という条件を与えたことで、同事業所を複数の生徒が選ぶという事態も生じた。じゃんけんなどの安易な決め方をさせず、なぜその事業所

を選んだのか、そこから何を学びたいのか等の話し合いをさせ、生徒自身が納得する形で事業所の選択をさせることができた。また、事業所先の業務内容等を調べさせて自己紹介書を作成させたことで、インターンシップへの意識を高めさせることができた。

## ②事後学習

今年度は探究的学習との兼ね合いから、インターンシップ発表会を設けず、学年での振り返りだけを行うこととした。インターンシップ後すぐにお礼状の作成に取りかかり、日誌をまとめながらインターンシップレポート（1人 A 4用紙2枚）を作成させた。それらを一冊の冊子にまとめ、1年生に配布し、次年度インターンシップへの意識付けを図った。

## 3 今年度の就業・職場体験の成果と課題

### （1）成果

事前準備を丁寧に取り組ませたことで、インターンシップへの意識を高めさせることができた。1人1事業所での就業体験を実施することができたため、期間中も事業所の方々と積極的に関わり、様々な話を聞くことで仕事の魅力ややりがい、進路についての考えかた等を学んでいた。

事後学習として発表会は行わなかったが、お礼状やレポートの作成を通して、インターンシップを振り返らせ、職場体験だけで終わらせることなく、仕事の魅力や働きがいを考えさせることができた。

### （2）課題

インターンシップをより意義深いものにしようと、経験者による講話や、マナー講座、実習先の職業内容調査等による試みを行ったが、総合学習の「探究学習」と同時進行させてしまったこともあり、生徒及び教員自身も混乱してしまう場面があった。次年度は「探究学習」の実施時期をずらし、インターンシップ準備に集中できるような実施計画を立てられるようにしたい。

